つくしの里通信

会　報
第2号

発行日：　平成　２６年　３月２０日
発　行：　特定非営利活動法人 つくしの里 福祉会　**就労継続支援Ｂ型事業所 つくしの里**
〒　９６０－１２４１　　福島県福島市松川町字平舘１１－１番地
TEL　　０２４－５６３－１５１５
FAX　　０２４－５６３－１５１６

岳温泉　空の庭
食事会の招待・忘年会

あ い さ つ

理事長　　遠　藤　　稔

就労継続支援Ｂ型事業所「つくしの里」は、平成２５年度に新体系事業に移行して早１年を終えようとしております。地域社会の皆様方をはじめとして、施設に関係する多くの皆様からのご支援とご協力を頂きましたこと心より御礼申し上げます。さて、「つくしの里」の利用者の殆どの方が送迎車を利用して通所しております。遠くは福島市の飯坂町・立子山・飯野町・福島市内等から通っておりまして、送迎車が松川町の「松陵中学校」に差し掛かると旧国道４号線沿いに三角の大きな緑の屋根と「つくしの里」の緑の看板が見えてきます。利用者の皆さんは、この時に何故かテンションが上がってきます。新しくなった施設内は、小さいながらも使い勝手の良い設備の中で活動できる喜びが満喫できるからでしょう。利用者の皆さんの楽しい笑い声と温かい支援の空気が流れてくるのが実感できます。職員の皆様におかれましては、新体系（就労継続支援Ｂ型事業所）に移行して、毎日多忙の中で利用者の処遇向上を目指し、専門的な研修会や地域貢献的勉強会に参加し、レベルアップを図ると共に施設の未来像を描き更なる発展に努力しております。

平成２６年度は、歴史に相応しい白鳥が舞う水原川・素晴らしい田園風景・眼鏡橋・土合舘公園等の地域環境の下に地域社会から施設が認められ・求められる福祉事業を展開していきたいと思っております。

指定障害者福祉サービス事業所に移行して

主任支援員　　〇〇　〇〇

平成２５年４月　当事業所が地域活動支援センターから、障害者福祉法の下に障害者福祉サービスの指定を受け福島市の南部に位置する松川町に事業所を設立、初年度のスタートを迎えました。 また、同じ年度に障害者福祉法も障害者自立支援法から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律「障害者総合支援法」がスタートとなりました。このような状況の中、今までの障害者自立支援法では「障害者の自立支援及び社会参加支援」がうたわれていたところですが、新らしい法律では「基本的人権を享有する個人としての尊厳」が明記されました。当事業所としては、このよう様な諸条件を踏まえた上で、就労継続支援Ｂ型事業所の基本とする、地域社会で生活する障害者・施設を利用する障害者に対して、利用者が自立した生活、又は社会生活が営むことがるよう就労の機会を提供するとともに生産活動、その他の活動を通して能力の向上に努め、利用者が生まれ育った地域社会の中であたりまえの地域生活を営めるよう事業の展開を実施してきました。

施設の開所時は、地域社会で生活する１２名（男子１０人・女子２人）の利用者が、２台の送迎自動車を利用し、施設に通い新しくなった環境の下に、基本的には昨年度までの地域活動支援センターの支援体制・生産活動を継承し、利用者の社会参加の確立を目指して、生活支援・生産活動に取り組んできました。特に活動の中心である生産活動としては自主生産体制を中心として「つくしの里」のオリジナルである「彼岸花・ポンせんべい」の生産販売。その他に受託作業や施設外授産活動を一部取り入れる中で活動を展開してきました。その他に今年度は福島県授産事業振興会の事業開発業務改善検討診断の指導の下に、今後の活動指針作り・また、目標工賃達成指導員の配置もされたことで、安定した福祉サービスの提供が実施されてきました。

このような状況を踏まえ、次年度の目標は、地域社会に対し障害者福祉サービス事業「つくしの里」の存在感をアピールすることで、地域社会からの福祉ニーズに応えると共に「認められ・求められる」施設つくりに専念していく。また、利用者の皆さんには、地域社会の一員としての意識の向上を図ると共に、一方では、社会参加を具体化するために実社会での社会体験の「場」を提供することで、社会生活能力の開発、並びに、労働と経済観念等を理解させることで、労働に対する意識・意欲の開発に努め、利用者が率先して活動に参加できる環境を整えることで社会参加の道を開いていきたいと思っています。

人材サポート事業の受け入れ

平成２６年２月・３月の２か月間の期間で、株式会社・福島人材派遣センターの依頼により「医療・介護分野における人材サポート事業」の一環として、高い離職率などにより常態的な人材不足が生じている医療･介護の分野で働く意思のある求職者を、派遣労働者（実習生）として一定期間受け入れスキルアップを図ることを目的とする事業の受け入れを、当事業所が担当し受け入れを実施しました。

慣れない環境での実習となりましたが、２か月間頑張って取り組むことができました。ご苦労さんでした。

手作りで作った彼岸花

花つくりに参加しました

心癒される環境・福島市松川町

福島市松川町水原川には、例年「白鳥の飛来」がみられる。毎朝礼後の週２回「クリーン活動」と題し、利用者と職員が一緒になって「ごみ袋・ゴミはさみ」を手に松川の向町町内を「散策」と「クリーン活動」を兼ねて実施している。上空を見上げると白鳥が大きなこ声を発しながら優雅な姿で飛ぶのが見られる。「うーん」これぞ、松川地区の爽やかな朝の特権かなー・・・・・

福島市松川町
白鳥の飛来地

空想民族音楽　SAYAN「AFRASAIN MUSIC」

この度、障害者の日中活動支援「共働福祉農園 麦の家」と「ヘルパーステイション おはよう」を運営するＮＰＯ法人「麦の家」の理事長 佐藤幸子氏からの紹介で、空想民族音楽「ＳＡＹＡＮ」の演奏会を開いた。　演奏者は、「ＳＨＵ・ＲＩＮ」の２人で、「音楽とは祈りだ」・「祈りと歓び」といった言葉に集約し、全国で音楽活動（打楽器）を２人で行っている。今回は「つくしの里」で、演奏をしていただいた。

利用者の皆さんも演奏を体で感じて、最後には楽器をもって演奏に参加し楽しんでいた。　ありがとうございました。

神と人をつなぐ太鼓の音「SAYAN」の演奏に利用者・職員一緒になって楽しむ

日帰り旅行会　日本三景松島の旅

今年の日帰り「旅行会」は、利用者が自治会で「おいしい海の幸・バス・観光船」の三拍子揃った旅行ということで、「日本三景・松島の旅」の計画となった。３．１１の東北大震災の跡がまだ残る観光地であったが、観光バスにゆられ、おいしい海の幸をいただき、観光船での雄大な景色を眺めることができ、楽しい旅行会となりました。

水族館前での記念撮影

第３８回　福島市障害者スポーツ大会

と　き　　平成２５年１０月　５日(土)

ところ　　福島市信夫ケ丘競技場

今年も福島市が主催する障害者スポーツ大会が開催された。「つくしの里」は、年間行事の一環としてこの大会に参加する。利用者の皆さんも例年楽しみにして、各競技に参加し、「メダル」を争う。今年も「金メダル・銀メダル」と参加した利用者の殆どが受賞できた。　　また、来年も頑張るぞー

お猿のかごや　がんばれー

障害者施設に勤めて

就労継続支援Ｂ型事業所「つくしの里」に勤めて、早いもので一年が経ちました。以前は高齢者福祉関係事業所に係わっていましたが障害をもつ方と関るのは初めてで毎日戸惑うことばかりでした。それでも、毎日利用者の方とコミュニケーションを取り人間関係を築いていく中でその人を理解し受け入れることが大切だと感じています。声掛け一つを取っても、上手に伝わらないこともありますが、昨日出来ていなかったことが今日できていたり毎日利用者の方は変化しています。その時間を共有できることをうれしく思います。初心を忘れず、利用者の方と共に成長していきたいと思っています。

ご苦労様です

障害者施設に勤めて

就労継続支援Ｂ型事業所「つくしの里」に勤めて一年が経ちました。初めて障害者と関って最初のころは戸惑うことがたくさんありましたが、最近では少しずつ施設利用者の皆さんを理解できてきたかなと思っています。こちらの声掛けが伝わらず何度も繰り返すこともありましたが、本人の努力もありますが、こちらの声掛けの工夫で次からは自分一人でできるようになることが沢山見られてきました。利用者の皆さんが毎日頑張り、成長する姿を見て、支援の大切さを実感しております。

アットホームな雰囲気の「つくしの里」で、これからも笑顔を絶やさず小さな幸せを見つけていきたいと思っています

新任職員の紹介（勤務５カ月勤務）

今日は、初めまして。昨年 10 月から「つくしの里」の職員になりました〇〇です。　今思えば月日の経つのは早いもので、気付けば残暑が厳しい秋の日から大雪の名残が所々に見られる景色に移っていました。私が勤めた当初は、暑い中で完成した彼岸花が所々に見られる景色に移っていました。私が勤めた当初は暑い中で完成した彼岸花収納する棚を倉庫に造っていたのを覚えています。　それが今の棚に溢れんばかりの彼岸花が出番を待っているようです。　同じように彼岸花が少しずつ棚に埋まっていくにつれて、私も皆様と共に成長してきたように思います。

私は以前、家庭教師などモノを教える立場に席を置いていましたが、このような施設職員は全くの門外漢です。ですが、専門家が越えられず諦めていた壁を、出来上がった先入観や既成概念に縛られない素人の発想で突破することもあるはずです。

また、皆様と一緒に活動して、私はいつも自然体でいられることがとても嬉しく思っております。特別に何かを意識することもなく、皆様の生活の中において自然に私が輪の中にいることは、本当に充実した時間を過ごしているからなのだと深く感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

新任職員の紹介（勤務０カ月勤務）

私は、就労継続支援Ｂ型事業所「つくしの里」に、この度、就職した〇〇でございます。　以前に障害者施設でアルバイトをしたことはありますが、障害者福祉に対しては素人です

早く職場に慣れて頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

賛助会員募集

特定非営利活動法人つくしの里福祉会は、障害者の自立と社会参加、及び生きがいつくりに関する事業を行い、障害者の社会参加の促進と、地域の親交を通じ、地域社会からの障害者への理解や偏見等の差別を是正することを目的として活動をしております。このような施設の目的・活動に賛同し、ご支援くださる賛助会員を募集しております。是非共、地域福祉活動をご理解いただきご支援の程宜しくお願いいたします。

年会費　個人（一口）　１，０００円　　団体（一口）　１０，０００

賛助会員・団体会員の紹介

ＮＰＯ法人シャローム　様
社会福祉法人「銀河」　様
緑の里　クリニック　様
石橋建設工業株式会社 様
有限会社　アサクラ　様
新和自動車工業　様
合資会社　アイビスホーム企画　様

松川町　〇〇〇〇　様
岩代町　〇〇〇〇　様
松川町　〇〇〇〇　様
福島市　〇〇〇〇　様

【編集後記】

平成２５年度、指定障害者福祉サービス事業所に移行して、第２号の広報紙となりました。年度の当初は、最低でも３号までは作成し、事業所の紹介や皆様からのご指導ご支援等を紙上をもって紹介したかったのですが、何かにつけ初年度の１年は追われっぱなしの１年でこのとおりとなってしまえました。次年度こそはと思っておりますが、結果は如何に、頑張りまーす。